

ESG経営を進める積水ハウスグループの持続可能性報告書 「サステナビリティレポート2018」発行 ～SDGsの目標年（2030年）を見据えた目標を初掲載～

積水ハウス株式会社は、グループ経営上の重要事項である環境・CSRに関する取り組みをまとめた、持続可能性報告書「サステナビリティレポート2018(Sustainability Report 2018)」を発行しました。本報告書では、2017年に策定した長期ビジョン「サステナビリティビジョン2050」に加えて、SDGs（国連総会で採択された「持続可能な開発目標」）の目標年（2030年）を見据えた目標を初めて示し、当社グループの長期的な価値実現に関心を持つステークホルダーと進捗の道筋の共有を図ります。

- 長期ビジョン「サステナビリティビジョン2050」に加えて、SDGsの目標年（2030年）を見据えた目標を設定
- 2005年に定めて企業活動の基本に据えた「サステナブル・ビジョン」および「4つの価値と13の指針」とSDGsの関連性が見える化

「サステナビリティレポート2018」の特徴は以下の通りです。

当社は2008年に住まいのライフサイクルでCO2排出ゼロを目指す「2050年ビジョン」を宣言していますが、より広範なテーマを包含する「サステナビリティビジョン2050」を昨年示しました。本年はSDGsの目標年（2030年）を見据えた中期の目標を示しています（P.15・16）。

目指す姿	2030年目標（SDGs目標年）NEW	2050年目標
脱炭素社会へ先導	SBT目標※1・RE100中間目標※2の達成	住まいのライフサイクルCO2ゼロ
人と自然の共生社会へ先導	標準的な積水ハウスの住宅におけるフェアウッド調達100%	森林破壊ゼロ フェアウッド調達100%
資源循環型社会へ先導	循環型事業の制度整備加速	社会インフラレベルでのゼロエミッション
長寿先進・ダイバーシティ社会へ先導	健康長寿をもたらす家づくりを推進し、人生100年時代の幸せを提供	住まいとコミュニティの豊かさを最大化

2005年に「経済価値」「環境価値」「社会価値」「住まい手価値」の「4つの価値」を企業活動の基本に据えることを約束した当社グループの「サステナブル・ビジョン」の考え方と、SDGsの考え方は大部分で合致しており、その関連性を示しています（P.13）。

積水ハウスグループは、今後も環境・CSRに関する取り組み内容を積極的に開示し、ステークホルダーの皆様の期待に応えるとともに、持続可能な社会の構築に寄与してまいります。

- ※1 SBTとはScience Based Targetsの略称。自社消費I社単一電力によるCO2を35%、提供した住宅の使用に伴って消費されるI社単一電力由来のCO2を45%削減（2013年比）
- ※2 事業活動で消費する電力の50%を再生可能エネルギーで賄う

「4つの価値と13の指針」とSDGs(事業を通じた直接的・間接的な寄与項目)



＜「サステナビリティレポート2018」の主な掲載内容＞

- 価値創造のビジョンと戦略
 - ・ トップコミットメント
 - ・ 積水ハウスグループが創造してきた共有価値と自社取り組みとの関係を図示（財務・非財務の結合性）
 - ・ SDGsと「4つの価値と13の指針」の関連性
 - ・ 長期ビジョン（2050年チャレンジ目標）と2030年目標
 - ・ 第4次中期経営計画とCSV戦略
 - ・ 積水ハウスグループ独自の強みを具体的な数値で表現
 - ・ 価値創造のビジネスモデル



A4版・全84ページ

● 価値創造の実践

積水ハウスグループのCSV戦略・・・重点的に取り組む六つの「CSV戦略」を特定し、テーマごとに目指す姿や活動方針、2017年度の取り組み成果、目標に対する実績の自己評価などを開示しています。

CSV戦略		主な実績（2017年2月～2018年1月の算出 ※3は別記）
①	住宅のネット・ゼロ・エネルギー化	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）「グリーンファースト ゼロ」 比率が当社戸建住宅の76% ※3 1990年比CO2排出削減率83.6%
②	生物多様性の保全	「5本の樹」計画を開始した2001年からの累積植栽本数1409万本、環境NGOと作成した独自の「木材調達ガイドライン」に基づく調達ランクSまたはAの木材比率92%
③	バリューチェーンを通じた顧客価値の最大化	制震システム「シーカス」搭載率96% 空気環境配慮仕様「エアキス」搭載率88% 教育訓練センター・訓練校修了者累計2638人
④	アフターサポートの充実による住宅の長寿命化	お客様満足度調査で7段階中の最高評価「非常に満足」の割合42.3% 当社工場が使用する資材量4万トン削減
⑤	ダイバーシティの推進と人材育成	グループ女性管理職158人（前年比17人増） 障がい者雇用率2.38% 男性育児休業取得者数597人・取得率95% ※4
⑥	海外への事業展開	アメリカ、オーストラリア、中国、シンガポールで、当社が培った強みを活かして事業展開。 売上高3067億円、経常利益287億円

※3 「グリーンファースト ゼロ」比率は北海道以外の都府県で算出(2017年4月～2018年3月末まで)
累積受注棟数は報告年度末（2018年1月末）時点で34,648棟、同年3月末時点で35,881棟
(2018年5月22日付 ニュースレター配信)

※4 算出方法は（取得回数/取得対象者数）

● 価値創造の基盤

- ・ コーポレートガバナンス、コンプライアンス推進とリスクマネジメント
- ・ CSR推進体制 など

なお、本レポートと同じ内容のPDFデータは以下のURLからダウンロードできます。

<https://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/download/index.html>

また、WEBサイトでは、より詳細かつ網羅的に情報を開示しています。

<https://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/>

